

『ハクサイダニに注意！防除方法』

1月になり、ハクサイダニの加害による相談が増えています。今年度は例年に比べるとやや遅い発生で、これから収穫する野菜で被害が発生する恐れがあるので早めの防除をおこなってください。

ハクサイダニの特性と防除

ハクサイダニは11月中頃から寒くなるにつれて発生が多くなり、5月頃まで活動します。ダイコン、ハクサイなどアブラナ科野菜やホウレンソウ、レタスなどを中心に加害し、被害葉は灰色から銀白色になり、のちに枯死します。結球野菜では結球内部に侵入し加害するほか、成長点や芯葉付近に加害が多く、伸長を止めてしまうので、初発を確認したら定期的に農薬散布をしてください。なお、散布にあたっては株元から葉先までしっかりかけてください。

耕種的防除として収穫後の残さや、被害株は発生源になるのでは場外で処分します。また、ほ場周辺の除草を徹底してください。

被害の多いほ場では、翌冬の発生が予測されるので、夏期に休眠卵に対してビニール被覆による蒸しこみが有効です。

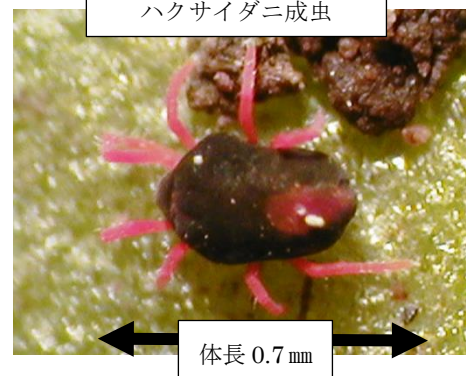
ダイコンを加害するハクサイダニ



ホウレンソウの被害



ハクサイダニ成虫



写真提供：日本曹達株式会社

登録農薬

農薬名	登録	倍率	散布量	使用方法	使用時期	使用回数
コテツフロアブル	こまつな	2000倍	100～300ℓ/10a	散布	収穫3日前	1回以内
ディアナSC	なばな類	2500～5000倍	100～300ℓ/10a	散布	収穫前日	2回以内
サンクリスタル乳剤	しゅんぎく	300倍	150～500ℓ/10a	散布	収穫前日	—
アディオソ乳剤	しゅんぎく	4000倍	100～300ℓ/10a	散布	収穫21日前	2回以内
	ほうれんそう	3000倍	100～300ℓ/10a	散布	収穫14日前	2回以内

※農薬によっては注文になる可能性があります。作物によって登録が違うのでラベルを要確認。